企業誘致に次の一手

企業立地政策

千葉県特集

新興国の経済成長や円高を背景に中堅・中小企業は海外進出の動きを強めている。国内への事業所・工場の誘致は、刻々と変化する企業のニーズをとらえなければ成功しない。千葉県は今年、工業団地の造成整備再開に向けて大きく舵を切った。首都圏と結ぶ交通インフラの整備により、弱点だった「半島性」の解消も進みつつある。日本の表玄関である成田国際空港を擁する優位性を生かし、海外と国内を結ぶ「ハブ」として新たな投資を呼び込もうとする県の動きを追った。

交通インフラ整備進む

成長企業呼び込みへ 基盤作り急ピッチ

圏央道の整備進展

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、都心から半径40―60キロメートルの位置に計画された延長約300キロメートルの高規格道路。千葉県内では、東京湾アクアラインから入って県中央部を縦貫し、成田国際空港を経て茨城県に抜ける形で整備が進む。2012年度末には松尾横芝インターチェンジ（千葉東金道路）―大栄ジャンクション（東関東自動車道）間をのぞく全区間が開通する見通しだ。

開通後は、千葉県を巡る道路網が大きく変ぼうする。千葉県内から都心に入らずに神奈川、埼玉、茨城の各県に抜けることが可能になるほか、成田、羽田の二つの空港のアクセスも向上する。社会実験という形で始まった東京湾アクアラインの通行料金引き下げも、現状の料金の恒久化が見え始めている。

圏央道沿線に位置する内陸部の工業団地も、利チェンジに近接している。また、国際的に知名度が高い〝ナリタ〟に拠点を置くことが有形無形のメリットをもたらすことも考慮したという。

鉄道網も充実

整備が進むのは圏央道だけではない。昨年7月には成田国際空港と東京都心を北総線経由で結ぶ京成電鉄の新路線「成田スカイアクセス」が開業した。日暮里―空港第2ビル駅の所要時間は51分から36分に短縮。千葉ニュータウン中央駅など沿線主要駅に停車する新車両も導入した。

開業から1年あまり。沿線の千葉ニュータウン（千葉NT）では、企業立地や住宅開発の促進に期待が高まる。千葉NTは千葉県企業庁とUR都市機構が共同で運営している。船橋市、印西市、白井市にまたがるエリアで、住宅用地、公益的施設用地、特定業務施設用地などで構成されている。駅圏別の事業用地は東西に縦貫する通称100メートル道路で連結している。周辺地域の活性化を見越して、今年9月には京葉銀行が沿線の印西牧の原駅前に支店を開設。千葉銀行も新店舗を建設中だ。

千葉NTは東日本大震災の発生後、地盤の安定した下総台地に位置する点でも注目を集めている。堅固な洪積台地であることに加えて、マグニチュード7・0以上の地震が起こる可能性がある首都圏の五つの断層帯のいずれからも距離がある。すでに災害リスクに敏感なデータセンター（DC）やバックアップオフィスの集積が進んでいるが、今後は一般企業の立地も増えそうだ。

新たな工業団地整備に向けて

既存の工業用地が優位性を増す一方、新たな工業団地づくりも進展している。02年度から凍結していた工業団地の造成整備再開に向けて検討を重ねてきた県は、交通アクセスなど企業が工業団地に求める要件を満たす候補地として旧袖ケ浦椎の森工業団地（2・3期）用地（千葉県袖ケ浦市）と旧茂原にいるる工業団地用地（同茂原市）を最終的な候補地として決定した。

10月11日に開かれた千葉県工業団地整備検討委員会

今年10月には、プラザ菜の花（千葉市中央区）で第4回千葉県工業団地整備検討委員会（青木英一委員長代理＝敬愛大学経済学部教授）が開かれた。コンサルティング会社が提示した3案を元に、事業採算性や土地利用計画などを詳細に検討。両用地とも、宅地造成単価を抑える一方、可能な限り平たんな造成とし、柔軟性の高い画地を確保する案を選んだ。現在は、旧袖ケ浦椎の森工業団地は企業庁が、旧茂原にいるる工業団地は土地開発公社が保有しているが、県が用地の移管を受けて造成する。今後は選定した原案を精査し、年度内に最終的な造成再開の可否を決定する。造成再開が決まれば、初年度に当たる12年度は法手続きや環境調査にあて、早ければ13年度に着工し、16―17年度にも完成する見通しだ。

新たな経済発展の基盤作りが急ピッチで進む千葉県。成長企業を呼び込もうとする行政側の熱意は、かつてないほど高まっている。だが、中堅・中小企業の海外進出が当たり前のようになった現在、国内へ新たな投資を促すには一層の工夫と、手厚い支援制度が欠かせない。県の〝次の一手〟に注目したい。

千葉ニュータウン

便性が格段に高まる。価格設定が抑えられている上、インフラが整っており、すぐに工場建設に着手できる点も魅力だ。

今年9月、内陸部の工業団地の一つである成田新産業パーク（成田市）に立地したヤマサ醤油（銚子市）。用地選定を担当した仲内和彦製造本部部長は、選定理由の第一に地理的要因を挙げている。同パークは首都圏と銚子の中間に位置し、東関東自動車道のインター

森田知事がトップセールス

千葉県企業誘致セミナー2011

千葉県は10月19日、東京都千代田区の如水会館で「千葉県企業誘致セミナー2011」を開いた。トップセールスによる企業誘致に力を入れる森田健作知事が、幅広い業種・地域の企業に県内への事業所・工場の立地を直接訴える試みだ。当日は企業関係者ら約150人が参加。東京大学大学院経済学研究科の伊藤元重教授による基調講演に続き、今年9月に成田工場（千葉県成田市）を完成したヤマサ醤油（同銚子市）製造本部の仲内和彦部長が工場立地の経緯などを紹介。最後に森田知事が登壇し、千葉の魅力を熱くうったえた。

熱弁をふるう森田知事

交通網の拡充が使命 千葉を首都圏の中心に

〈森田知事の発言要旨〉

千葉県内は、千葉県木更津市と川崎市を結ぶ東京湾アクアラインの通行料金を引き下げる社会実験により、交通量が大幅に増えている。2009年8月から今年3月までの社会実験では首都圏全体に350億円の経済効果があったと聞く。東日本大震災では首都高速道路の代替としても使われ、首都圏の大きな動脈であることを証拠立てた。社会実験は14年3月までの5年間だが、現行の料金は必ず恒久化するつもりだ。

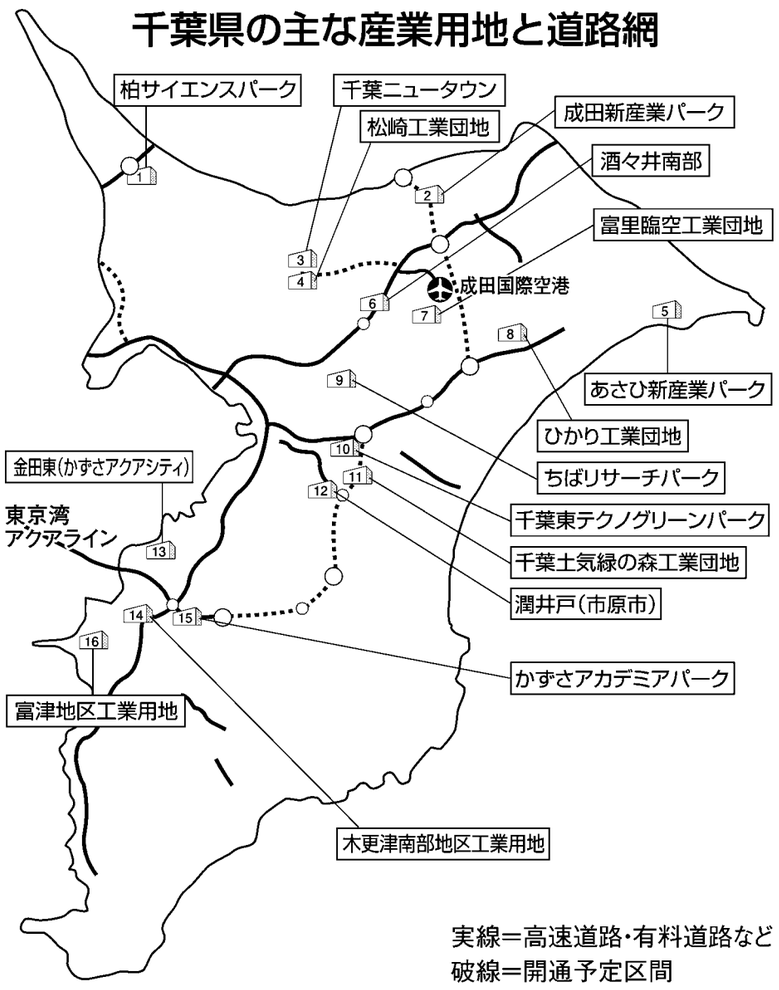
アクアラインと直結する圏央道も2年後にはほとんど完成する。東関東自動車道を経て成田国際空港と結ぶ松尾横芝（千葉東金道路）―大栄（東関東自動車道）間だけは完成時期が未定だが、同区間の一日も早い開通は、私の使命だと思っている。

圏央道の整備により、県内に立地する企業は成田国際空港と羽田空港という二つの空港を使えることになる。国内空港網の充実や格安航空会社（LLC）の参入促進、ビジネスジェットの対応などにより、成田国際空港が一層利便性に富んだ空港になるよう促していく。成田―羽田の一体運用は、千葉県のみならず日本経済の大きな柱になるだろう。

千葉県は首都圏の〝へそ〟である。全国屈指の農林水産県で、三方を海に囲まれ風光明媚な場所も多い。気候も温暖だ。思いっきり仕事ができるだろう。人口は全国6位の621万人。そのうち生産年齢人口が66％を占める。理工系の大学も多く、人材豊富だ。

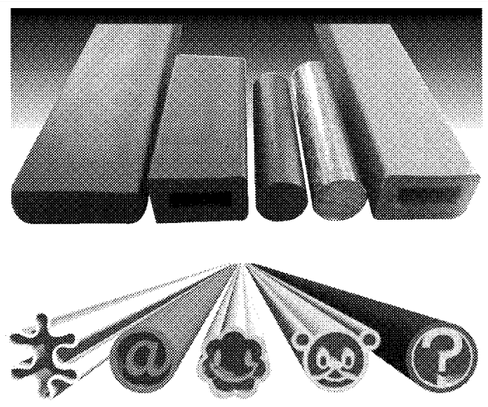
縁があって千葉県に進出する企業があれば、要望を真剣に受け止め、できる限りのことをするつもりだ。今回は縁がなくても、将来一緒に何かできることがあるかもしれない。まずは千葉県の良いところを知り、好きになってもらいたい。

千葉県の主な産業用地と道路網

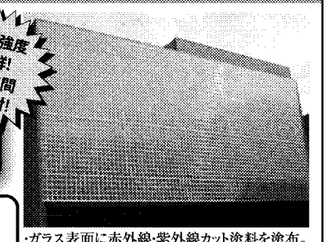


実線＝高速道路・有料道路など
破線＝開通予定区間

FUJII
●地球環境・人に優しい
金属・樹脂の技術を融合した対応力
① 地域ブランド資源（サンブスギ）を利用した押出成形による新素材木粉（70%）入りの木質プラスチック・木炭（70%）入りの炭プラスチック
② 多機能樹脂管（1層～3層まで対応）製品実例―地中埋設樹脂管
③ 工業用ミシン・産業装置向け金属製品の設計・金型・各加工組立までの一貫生産体制
株式会社　藤井製作所
本社 〒277-0861 千葉県柏市高田1116-46 Tel.04-7143-7136 Fax.04-7143-7139
www.fujiiss.co.jp　e-mail:kikeda@fujiiss.co.jp



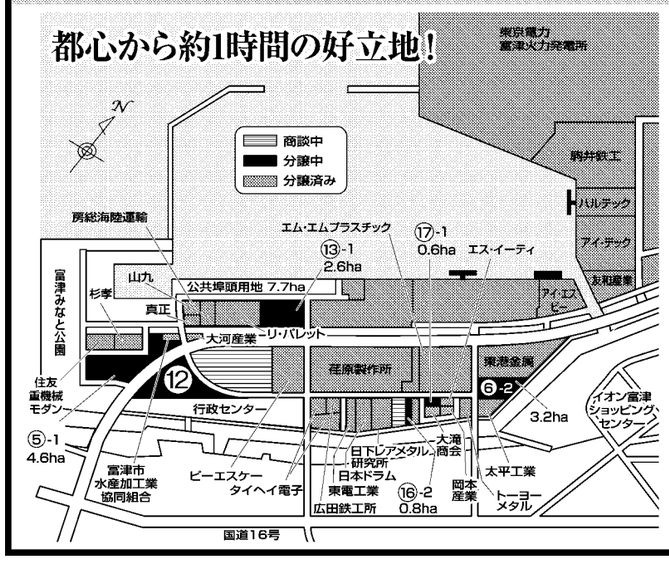
ガラスブロックパネルのパイオニア
株式会社 星工業
Star Panel
スターパネル
特許技術「振動固溶気養生工法」により、ガラスブロックのパネル化を実現!!
コスト削減、強度、防水、防腐食性に優れ、超大型パネル、トップライトに利用できるようになりました!
耐震強度抜群! 10年間保証付!



【本　社】千葉県市原市葉木394-1
TEL:0436-74-9351
FAX:0436-74-9069
【皿木営業所】千葉県長生郡長町皿木253番地5
http://www.gbp.jp/
・ガラス表面に赤外線・紫外線カット塗料を塗布。
・断熱性能・紫外線カット性能向上。
・既製品の場合、塗料はオプション（1㎡あたり10,000円～）
●トップライト仕様　販売価格149,800円／個
サイズは外枠寸法（1,310×1,310）　ガラスは（190×190×80）

Aktivt
設計開発支援（3Dデータ及び試作の制作）
株式会社 アクティブ
〒170-0014 東京都豊島区池袋1-5-14 関口ビル
Tel 03-6914-0651　Fax 03-6914-0652
E-mail m-misawa@aktivt.co.jp

富津地区工業用地



分譲区画
13.4ha（16区画）
参考価格（H23.4.1現在）
16,200円～18,900円／m²
業種等
業種： 製造業・物流業等 優遇制度： 大規模分譲優遇、分割納入等

千葉県企業庁 工業団地のご案内

その他の工業団地

工業団地名	分譲区画	参考価格（H23.4.1現在）
木更津南部地区工業用地（木更津市木材港）	15ha（4区画）	17,400円～18,200円／m²
松崎工業団地（印西市松崎台）	1.7ha（4区画）	25,900円～34,300円／m²
ひかり工業団地（山武郡横芝光町篠本根切）	3.5ha（2区画）	8,300円～8,800円／m²

お問い合わせ先
千葉県企業庁
地域整備部土地分譲課
〒261-8552
千葉市美浜区中瀬1-3
幕張テクノガーデンD棟4階
電話　臨海：043-296-8758（臨海地区分譲室）　内陸：043-296-8759（分譲企画室）

工業団地のほか、業務・商業・住宅用地もご案内しています。本紙掲載以外の工業団地の詳細は、ホームページをご覧ください。
千葉県企業庁　分譲情報　検索